

第142回 伊丹市内企業の景気動向調査

本所では、伊丹市内企業の景気動向を把握するため、四半期ごとに標記調査を実施しているが、このほど、第142回調査の結果を取りまとめた。本調査時点は7月下旬、調査対象期間は平成28年4月～6月期、景気動向については「直前期」、経営動向については原則として「前年同期」と比較してもらった。

今回の調査結果（回答68社）によると平成28年4月～6月の景気実績は「上昇」回答2.9%（前回8.2%）、「下降」回答29.4%（前回24.7%）、景気見通しは、「上昇」回答1.5%（前回7.1%）、「下降」回答33.8%（前回25.9%）英国のEU離脱による影響については、「影響あり」5.9%、「影響なし」94.1%の結果となった。

【景気動向について】

業界の景気

	上 昇		横ばい		下 降	
	今回	前回	今回	前回	今回	前回
一般工業	0.0	3.3	65.4	70.0	34.6	26.7
食料品工業	0.0	15.4	100.0	69.2	0.0	15.4
商 業	0.0	0.0	50.0	66.7	50.0	33.3
建設業	0.0	0.0	77.8	87.5	22.2	12.5
運輸業	0.0	0.0	62.5	75.0	37.5	25.0
サービス業	25.0	40.0	50.0	30.0	25.0	30.0
全業種	2.9	8.2	67.6	67.1	29.4	24.7

今後の景気の見通し

	上 昇		横ばい		下 降	
	今回	前回	今回	前回	今回	前回
一般工業	0.0	3.3	69.2	76.7	30.8	20.0
食料品工業	0.0	7.7	88.9	69.2	11.1	23.1
商 業	0.0	0.0	62.5	75.0	37.5	25.0
建設業	0.0	0.0	66.7	50.0	33.3	50.0
運輸業	0.0	0.0	50.0	75.0	50.0	25.0
サービス業	12.5	40.0	37.5	30.0	50.0	30.0
全業種	1.5	7.1	64.7	67.1	33.8	25.9

英国のEU離脱による影響

	影響あり	影響なし
一般工業	11.5	88.5
食料品工業	0.0	100.0
商 業	0.0	100.0
建設業	0.0	100.0
運輸業	12.5	87.5
サービス業	0.0	100.0
全業種	5.9	94.1

【回答企業の業種別分布】

業 種 項 目	対象数 (社)	回答数 (社)	回答率 (%)	構成比 (%)
一般工業	50	26	52.0	38.2
食料品工業	17	9	52.9	13.2
商 業	20	8	40.0	11.8
建設業	22	9	40.9	13.2
運輸業	21	8	38.0	11.8
サービス業	20	8	40.0	11.8
全業種	150	68	45.3	100.0

【産業別業況DI値】

	業 況	売 上	採 算	仕入単価	従業員
一般工業	▲26.9	▲23.1	▲15.4	▲19.2	0.0
食料品工業	▲11.1	▲11.1	▲11.1	0.0	11.1
商 業	▲62.5	▲37.5	0.0	▲62.5	12.5
建設業	▲22.2	▲11.1	0.0	▲44.4	55.6
運輸業	▲12.5	0.0	▲12.5	▲12.5	0.0
サービス業	▲12.5	▲12.5	▲25.0	▲37.5	▲12.5
全業種	▲25.0	▲17.6	▲11.8	▲26.5	8.8

(注) DI = (増加、好転などの回答割合) - (減少、悪化などの回答割合)
業況、採算：(好転) - (悪化) 売上：(増加) - (減少)

【英国のEU離脱による影響についてのご意見】 ※一部抜粋

- ・ 為替相場の変動により、価格競争力に影響が出ている。為替に左右されない製品の開発を検討。
- ・ 現時点では判断出来ない。影響が出る可能性も想定されるので、慎重に見極めていく。
- ・ 輸出貨物が減少。

【ご意見】 ※一部抜粋

- ・ 国の補助金制度に於いての注文一時的か不安要素有り。
- ・ 再び円高傾向となっており、受注の減少が懸念される。
- ・ もう一度プレミアム商品券を発行してほしい。そして大型店と小売店の比重を小売店に多く希望。
- ・ 燃料費が低く留まっているので有り難い。
- ・ インバウンド効果がいつまで続くかが問題。